

おしらせ



町職員採用試験

職種・人員・年齢
▽一般事務 Ⅱ 若干名
昭和39年4月2日～昭和51年4月1日までに生まれた人
▽看護婦(士) Ⅱ 若干名
昭和32年4月2日～昭和49年4月1日までに生まれた人
◎受付期間
平成5年8月2日～8月20日
採用試験に関することは
三股町役場総務課
☎11111まで

あの人は

今どこに?

行方不明者を捜す相談所
警察では、次の日程で行方不明者を捜す相談所を開設します。
家出をして行方のわからない人のことなど、遠慮なくご相談ください。相談は無料で、秘密は厳守します。
相談に来られるときは、行方不明者の顔写真や体の特徴(ほくろ、手術の後)など、手がかりになる資料を持参してください。

明者の顔写真や体の特徴(ほくろ、手術の後)など、手がかりになる資料を持参してください。

日時 8月26日(木)、27日(金)
午前10時～午後4時
場所 都城市松元町4の17
都城市総合社会福祉センター
タ1

自転車盗が多発

今、町内で自転車盗難事件が多発しています。夏休みには、更に増えることが予想されます。
自転車から盗られるときは、必ず鍵をかけましょう。

自衛官等募集案内

☆2等陸・海・空士
受 付 年間を通して行っている
受 付 8月2日～9月30日
☆一般曹候補生
受 付 8月2日～9月13日

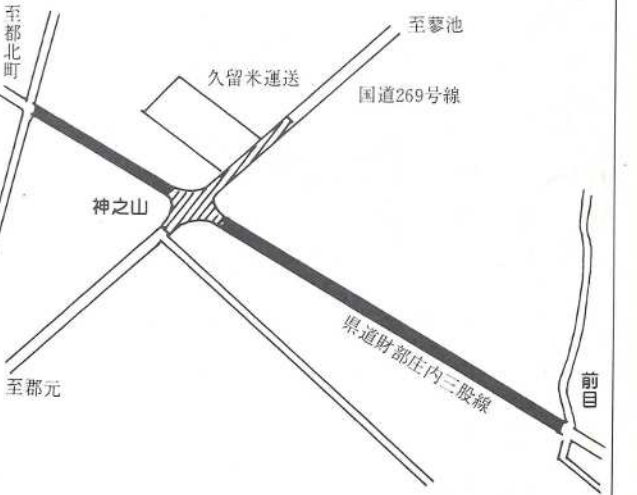
今月の納税 保険税1期

口座振替の方は残高の確認を心がけましょう

交通規制のお知らせ

国道269号線と県道財部庄内三股線の交差点(神の山)の改良工事のため、次のとおり交通が規制されます。

《県道財部庄内三股線》
全面通行止
期 間 8月17日～10月15日
《国道269号線》
片側交互通行
期 間 8月17日～10月20日



■ 全面通行止区間
▨ 片側交互通行区間

愛の献血



次のとおり、ご協力いただきました。ありがとうございます。
○6月7日
都城運輸免許センター 62名
都城農協三股支所

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおりいただきました。
故人のご冥福をお祈りいたしますとともに、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきました。
誠にありがとうございました。
平成5年6月1日から
平成5年6月30日まで
寄付者 続柄 故人名 地区 金額
肥後 敏夫 妻 ミエ子 61 5万円
高田 優秀 妻 イク 79 5万円
園田 静雄 妻 ミチエ 76 3万円

三股町の人口

平成5年7月1日現在
男 10,489人 出生 21人
女 11,543人 死亡 15人
計 22,032人 転入 103人
前月比+40人 転出 69人
世帯数 7,422戸(+33戸)

蔵元ミツ子	下沖 勉	母 夫	義光	83	5万円
上村 秀雄	妻 キミ	母 夫	カネエ	81	2万円
本村 武男	妻 エミ	母 夫	ミミ	81	2万円
飯屋 キミ	母 妻	母 夫	藤木	79	2万円
田上 廣	母 妻	母 夫	田上	65	3万円
田原 昭	母 妻	母 夫	上東	69	3万円
池田 克也	母 妻	母 夫	下新	89	3万円



着物染色作家として活躍する坂ノ上隆さん(45歳)。分業制で行われている下絵・上絵・染色の30もの工程を一人でこなす。

寝たきり老人 一人暮らし老人 重度障害者

などの幸せのために

知っておきたい

在宅福祉サービス

人生80年代といわれる高齢化社会を迎え、寝たきり老人や痴呆性老人、一人暮らし老人などの数が年々増え続けています。
「老い」は人間誰もが避けて通れない課題。これにどう立ち向かい、どのように克服していくか、今や老人問題は一人の問題ではなく、日本中が真剣に取り組んでいかなければならない問題です。
このような中で、健康づくりや生きがいづくりとともにその重要性が叫ばれているのが在宅福祉。在宅福祉は、対象者自身の福祉向上はもちろぬ、家族介護者の生活の安定もめざすものです。
今月号では、本町で行っている在宅福祉サービスを有効に利用していただくために、その内容などを紹介します。



デイ・サービスセンターの食事風景

食事や入浴を楽しんで

デイ・サービス運営事業

体の弱いお年寄りや寝たきりのお年寄りをデイ・サービスセンターに送迎し、食事や入浴、健康チェックなどのサービスを行っています。現在、町内に町デイ・サービスセンターと三光苑デイ・サービスセンターの2施設があり、それぞれ担当する区域が決まっています。

- 三光苑デイ・サービスセンター
1、2、3、7、8、9地区
4、5、6、7地区
- (サービス内容)
食事、入浴、日常の動作訓練、健康チェックなど
- (利用料)
・給食：300円
・入浴：200円
・特殊入浴：300円

訪問入浴

三股町デイ・サービスセンターでは、寝たきりなどで施設を利用できない方々のために、訪問入浴を行っています。対象者は町内全域。
利用料は1回につき300円です。

自宅で風呂に入れます

介護のご相談は 在宅介護支援センター ☎52-1155

在宅のお年寄りの不安や介護家族の介護に関する悩みなどについて、専門家が相談に応じています。介護の仕方がわからないとか、どんな介護用品があるかなど、介護に関することなら何でもお気軽にご相談ください。
また、福祉サービスが受けられるよう相談者に代わって関係機関との調整をしたり、申請手続なども行っています。

(相談料) 無料
(所在地) 三股町立病院内

介護疲れをいやして

短期入所運営事業

- (利用料) 一日当たり
・養護老人ホーム 1、600円
・特別養護老人ホーム 2、060円



ショートステイ

在宅の寝たきり老人などを抱えている家庭では、食事や排せつ、入浴、衣類の着せ替えなどの介護のため肉体的にも、精神的にも大きな負担を強いられています。
この事業は、家族の方が冠婚葬祭や旅行などで家を留守にしたり、疲れて介護を休みたいときなど、お年寄りを短期間、施設に預かってお世話をするものです。
(利用期間)
原則として一週間以内ですが、必要な場合は延長することができ

特殊寝台など お貸しします

日常生活用具給付等事業
寝たきりの方や一人暮らしの方が日常生活をより快適にしていた

だくために、次のような用具の給付や貸与を行っています。
特殊寝台、マットレス、エアーマット、腰掛け便座、老人用電話、緊急通報装置など
(料金)
所得に応じて、負担していただくことになっています。

介護と家事 お手伝いします

ホームヘルプ・サービス事業

寝たきりのお年寄りや体の弱いお年寄り、一人暮らしのお年寄りなどの家庭にホームヘルパーが伺いし、介護や家事のお手伝いなどを行います。

- (サービス内容)
介護の
手伝い 食事、入浴、着替え、通院の付添いなど
- (利用料)
所得に応じて、一時間当たり0円～880円の負担が必要です。

介護手当を支給します

月額1万円

在宅福祉サービスの利用申込みは

在宅介護支援センター

☎ 52-1155

役場福祉保健課

☎ 52-1111

社会福祉協議会

☎ 52-1246

重度障害者の方の

タクシー料金を助成

町では、心身に重度の障害を持つ人がタクシーを利用した場合、その料金の一部を助成することになっています。

(対象者)
身体障害者手帳1級の交付を受けている人と、療育手帳Aの交付を受けている人

(助成額)
利用1回につき510円。ただし、一人年12回が限度。

(申請窓口) 役場福祉保健課
☎ 52-1111 内線135
(手続に必要なもの) 手帳、印鑑



町長のリフレッシュ・デー

7月から

第2土曜日
と
翌日曜日

県下一斉にスタート

なぜ休養日が必要か



町では、7月から毎月第2土曜日とその翌日の日曜日を町長の休養日「リフレッシュ・デー」とすることにしました。

リフレッシュ・デーは、県内の全町村長が申し合わせを行い、県下一斉にスタートしたものです。町村

長がほとんど休みなく働いているため、体を休め心身ともに最良の状態

で職務に当たるのがねらい。

本町でも、この申し合わせに従っ

て町長のリフレッシュ・デーを設けることにしたもので、この2日間

は原則として公的行事を行わないようにしました。町民

の皆様のご理解とご協力をよろしく

お願いいたします。

全国的な労働時間短縮化の流れの中、県内でも4週6休制や完全

週休2日制が官公庁や金融機関、各企業などで取り入れられ、労働

者の労働時間短縮が進んでいます。

しかしながら、町長の職務は社会経済の激しい変化や住民の複雑

多岐にわたる要請を受けて多忙を極めており、休日を返上してほと

んど休みなしで働いているのが実情。

このため、「将来に向けた個性豊かな町づくり」を構想し、その

施策を推進するには、定期的な休養日を設けて時間的ゆとりを確保

するとともに、心身の健康を保持して職務に当たることが必要とな

っているからです。

なお、4月から6月までの3ヶ月間に福永町長が出席した第2、第4土曜日と日曜日の行事は次のとおりです。

福永町長の休日中の動き(平成5年4月～6月)

4・4(日)	11時30分	山王原祈念	5・9(日)	8時45分	町長杯テニス大会
	13時00分	蓼池祈念		18時00分	太郎踊り保存会総会
10(土)	17時00分	教職員歓送迎会	22(土)	10時00分	県民体育大会開会式
11(日)	11時00分	中米祈念	23(日)	9時00分	県四半的三股大会
24(土)	11時00分	野田町消防団研修受入れ		13時00分	鹿児島大学医学部教授葬儀
25(日)	9時00分	寺柱祈念	6・12(土)	11時00分	特老「三光苑」落成祝賀会
	11時00分	母子寡婦総会		15時00分	地方拠点都市指定祝賀会
	13時00分	三原祈念	6・20(日)	7時00分	モーニング・フォーラム
5・2(日)	8時15分	郡スポーツ少年団大会	6・27(日)	9時00分	婦人体育祭
	9時00分	淡水漁業組合つり大会			

※結婚式の出席などは省略しています。

ふるさとへの便り



松山義輔
(62歳、東原出身)

今、生田というところに住んでいます。

東京から多摩川を渡り、神奈川県川崎市の外れで、近くに読売ランドとか向ヶ丘遊園といった大きな遊園地を控えた多摩丘陵の一面です。

30年前、ここは生田という地名から受ける素朴な響きの通り、丘の上まで畑が続き、ススキや吾亦紅が道端を彩り、榛林沿いの道を牛車かゆつくりと上っていくという静かな場所でした。三股ならさしずめ谷の池の辺りか、宮村への道筋か、梶山の御崎神社から長田への――などと、三股にダブらせて四季の移り変わりを楽しんでいたものです。

ところがそれから数年経つと、点在していた雑木林がなくなり、畑の境に植えてあったからたちの垣根が掘り起こされ、その跡にアパートの群れが忽然と現れ、道が



(写真：昭和46年5月三股駅で撮影)

舗装され、車の数が日増しに多くなつて、以前の面影がなくなりました。確かに生活は便利になりましたが、私にとって貴重な自然が消えていきました。

昭和25年に上京しましたから、今ではこちらでの生活の方が長くなりました。両親の生きている間は、年に1回ぐらいは帰っていたのですが、その後は帰る機会も少なくなっています。

帰る度に道路が整備され、家並みが新しくなつて、発展して行く三股に驚きもし、喜ばしくも思つたのですが、頭の中にあるふるさと

とが変わり過ぎるのが寂しくもありました。「ふるさと」という言葉の重み、ふるさとがあるからこそ折にふれて胸をかすめてゆく淡いノスタルジア――三股はひとつしかないのに、そこへ寄せる情感は人さまさま。だから一人一人のふるさと、その数だけの三股があると思ひます。

駅前生まれ育った私には、駅の広場にあつた桜の古木や材木置場、石炭の匂いがこもっていた農業倉庫、そして製材所のノコ屑の山が見えてきますし、一日に何本も走らなかつた蒸気機関車のひびきや、ミカン婆さんの張りのある声

が聞こえてきたりもするのです。夏の陽に白く乾いていた県道、泳ぎに行った山田川の淵や淀み、朝夕見馴れた霧島。

あなたの声を町政に



福永町長と語ろう
ふれあい行政
モーニング・フォーラム

あなたも「あすの三股づくり」に参加しませんか。

今後のまちづくりの進め方や三股町の将来像など、皆さんのユニークなアイデア、建設的なご提言をお聞かせください。

フォーラムには、どなたでも参加できます。大勢の方のご来場をお待ちしています。気軽な服装でどうぞ。

記

1、日時 8月20日(金) 午前7時～8時

2、場所 役場4階会議室

フォー
毎月20ラムにいっど!!

62才になった今も、私の中にはつきりと息づいている40年前のこれらの風景が私の「三股」です。それにしても、この頃になつてことさら望郷の念しきりというのか、やはりトシのせいでしょうか。

次は北川宇城さん(旧姓：瀬尾、梶山出身)にリレーします。

毎月20日に開催

あがな 贖いの日々

「おい、そろそろ起きろ、お見舞いに行くぞ。」そう父に言われ、飛び起きていつも自分の車が置いてある庭を見て車が無いのに気づき、自分が起こしてしまった罪の重さと、これから背負わなければ

ならない責任に押し潰されそうな気持ちで、日曜日の朝を迎えまし

た。忘れもしない平成2年6月2日。

私は、3月に高校を卒業したばかりで、車に乗ることが楽しく、その日も会社



社が休みだったので、午前中ふらふらドライブし、午後から行きつけのスタンドで洗車をして、そのまま暇つぶしにパチンコへ行きまし

た。時間が過ぎるのを忘れて楽しんでいたが、7時の時報を聞き、友人から間もなく大事な電話が入るの思い出し、

家まで1キロぐらいなので、まだ間に合うかもしれないと思い、車に飛び乗りました。そして、パチンコ店を出ると同時にアクセルを踏み込みました。車は、ターボ音とともに走りだしました。

すると、前方左側に停車している車が見えました。停車している

初心者の無謀運転の結末

店員 21歳

のだからと何のためらいもなく、反対車線に出てその車をかわしたのです。その時、反対車線から車がくるのが見えたので、元の車線に戻ろうとハンドルを切りまし

が滑りだしてしまいました。あせった私は、右に左に大きく切って車を右往左往させ、車の前部分を反対車線にはみ出させたまま横すべりしてしまい、反対車線を走って来た軽乗用車に衝突させてしまいました。

私の車は半回転し、後部から煙へ落ちて止まりました。

車が大きかったので膝を打った程度の私は、「あーあ、やっちゃった。」くらいにしか思っておらず、

相手もけがはないだろうと思ってい

ました。ところが、車から出てみると私の車もかなりつぶれており、衝突したと思われる付近から5メートルぐらいの煙の中に車が

あって、自分の2メートル前方には、女の人が倒れているではありませんか。事の重大さに気づいた私は、すぐ女の人の声をかけてみ

ましたが、一度かすかに「うーん。」となったとき返事はありませ

ん。私は心臓が動いているのを確認して、通りすがりの車の人に、救急車の要請と警察への連絡をお願いしました。

そして、女の人の所へ行こうとすると、相手の車の中で、男の人が起き上がりとしていました。私は「大丈夫ですか、今、救急車を呼びましたから。」と言うと

「ああ、大丈夫。」という返事が返ってきました。男性は、ベダルとベダルの間に足がはさまり、数箇所骨折の重傷でした。2人が病院へ行った後、2時間以上におよぶ現場検証中も相手の容体を無線で聞いてもらい、おもわしくない

と聞いて、検証が終わるとすぐ病院に向かいました。病院には被害者の男性の親類の方が来ており、被害者の方々は夫婦で、結婚1年

目を過ぎた所で、何もかもこれからという時に、私がすべてを踏み

にじってしまったのです。それから毎日、お見舞いの日々を送っていましたが、6月14日、

私の誕生日の日に、女性の方が永遠の眠りにつかれました。そして私は、平成3年2月22日に禁錮1年以上1年6箇月未満の

不定期の実刑を言い渡され、いま市原刑務所においてつくづく、悲しい受刑生活を送っています。

これから私は、新しい年と成人式を刑務所で迎えます。そして、自分の誕生日には被害者の供養をしていかなければいけません。

それが、死亡事故を引き起こした者の、せめてものお詫びの気持ちなのですから。

(東京交通安全協会発行「贖いの日々」第27集より)

新刊図書のお知らせ

中央公民館では、次の図書を手に入れました。ぜひ、ご利用ください。

書名 著者名

【一般向】 出久根達郎

佃島ふたり書房 橋本大二郎

破天荒、大二郎がゆく

わが愛しのワトスン

マーガレット・P・ブリッジス

無名時代 阿久 悠

愛のまわりに 瀬戸内寂聴

復活の超発想 糸川 英夫

平成トム・ソーヤー 原田 宗典

ひとひらの舟 三枝 和子

ラブ・ジャンキー 家田 莊子

ブルボンの封印 藤木ひとみ
死体は生きている 上野 正彦
続そよ風ときにはつむじ風 池部 良
ザ・スペースエイジ第五巻 NHK取材班

【小中学生向】

北風にあつ少年 椎名 龍治

しろくまだって 斉藤 洋

燃えろ！トッパストライカー 高橋須美男

リサと柱時計の魔法

レベッカ・コーデル

おじいちゃんとの戦争

ロバート・K・スミス

転校生は悪魔くん 長井るり子

先生のわすれられないピアノ

矢崎 節夫

ぼくのパパはおすもうさん

日本児童文学者協会

くまたた けんいち (4才)

パパと海に行ったの

海の中を歩いたの

そしたらね

お口の中に

海が入ってきたの



おかあさんのせなか

三股小二年 小山田ひろ子

ふんわりしてあたかそう

おかあさんのせなかにのって

空をとんでみたいなあ

どこまでとべるかな

※やさしく心の暖かいおかあさんの

背中にもたれて、思わず青い空を

とんでみたいなど、ひろ子ちゃん

は夢をもちました。



図書室

だより (第79号)

お知らせ

これまで三股町立図書館という名称で親しんでいただきましたが、現実的には中央公民館の一部として併設している図書室です。で、今後は三股町中央公民館図書室と改称することになりました。名称は変わりましたが、運営についてはなんら変更はありません。以上、お知らせしますとともに、ご利用をお待ちしています。

図書の貸し出しは、1人10日間2冊まで。手続きをして(印鑑持参貸し出しカードを作れば、どなたでも(但し、4才以上)即お貸しします。

県立図書館のやまびこ号が、7月2日、図書の交換にきました。交換は児童図書が100冊、一般図書は200冊です。やまびこ号は、年に3回巡回訪問しています。

一般図書の交換 (児童館) 宮村、長田、梶山、夢池、前目の5

箇所。これはローテーション式に順送りする配本の仕組みです。児童図書とともに、各50冊配置していますので、ぜひご利用ください。貸し出しの便宜もはかっています。3カ月ごとに巡回して交換しています。

小説 上杉鷹山(上・下)

童門冬二著

8月の休み (中央公民館図書室)

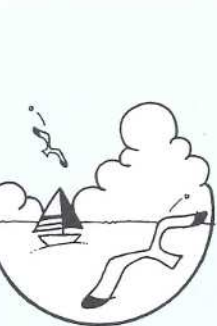
週	日	月	火	水	木	金	土
①	1	2	3				
②	8	9	10				
③	15		17				
④		23	24				
⑤		30	31				

数字は休みの日。1日は図書整理日。3、10、17、24、31日は午後1時から開きます。

(図書室 有馬)

うた 詩の広場 子どもの詩

今月も三股町の子どもの詩が集まりましたよ。特に、詩というほどでなくても、必ずハツと





米国人青年が来ます

本町初の国際交流員

HELLO! よろしく

JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)の国際交流員にアメリカ合衆国のグレン・アンダーソンさん(23歳、写真が決まり、7月22日から1年間、生涯学習課に在籍して町内のいろいろな交流活動に参加します。

JETプログラムは、地域レベルの国際交流を進めるため、地方公共団体が自治省や文部省、外務省などの協力で昭和62年から行っている事業。平成3年までの5年間に受け入れた外国青年の数は約9千5百名にもなっています。アンダーソンさんは、コネチカット州ハートフォード市出身。フロリダ大学で日本語と日本文学

を専攻した日本通。前任地の東臼杵教育事務所では1年間、中学生に語学指導をしており、日本語での会話も十分。担当する仕事は、主に外国語文書の翻訳や外国人訪問客の通訳、

田植えに「ガッツ!」

三股西ファイターズ

チームワークに活かそうと、少年野球の三股西ファイターズ(前村強監督、団員35名)は6月13日、午後1時から今市のたんぼで田植えを行いました。

農作業の体験をチームワークに活かそうと、今回が初めて取り組んだもの。趣旨に賛同して団員の祖父、下沖常一さんが約800㎡のたんぼを提供。母集団も全面協力し、「ガッツ!田植え」と書いた大きな立看板がたんぼ脇に登場。

当日は、朝から降り続いていた大粒の雨も子供たちの声が天に届いたのかピタリと止み、絶好の田植え日より。下沖さんから苗の植え方を習った後、団員や父母ら50名余りが縦1列になつて田植えを開始しました。

珍しさも手伝って最初のうちはハイペースで進みましたが、5、6列目を過ぎた辺りから次第にペースダウン。農作業の苦勞を体験し、参加者全員に米への感謝の心が芽生えていました。



役場で消防の勉強

三股小の4年2組

三股小学校4年2組の児童36名がさきほど役場を訪れ、消防の役割などについて勉強しました。社会科で習っているからと、クラス全員で相談し、下校の途中で立ち寄ったもの。

当日は、2階中会議室にあわて席をつくり子供たちを迎え入れましたが、「町内で1年間にどのくらいの火事が起きているんですか?」「消防署と消防団はどう違うんですか?」など子供たちの質問攻めに、消防係も汗だくのひとときでした。



農作業の尊さ学ぶ

勝岡小の5、6年生

勝岡小学校(村中清美校長、児童数326名)の5年生と6年生の111名が、6月14日午後2時から蓼池共同作業所西隣のたんぼ340㎡で田植えをしました。

農作業をとおりて自然の恵みに感謝する心をはぐくもうと、ゆとり「勝小タイム」を利用した。当日は、学校から歩いて20分余りで現地に到着。先生から苗の植え方などの指導を受けた後、5年生からクラス順に餅米の苗を植えました。初めての体験にあちこちで歓声が上がり、中には尻餅をついて体中どろんこになっている子も見られました。

同校では、草取りや稲刈りも児童たちがするようにしており、実りの秋には収穫祭も計画。全校児童でもちつきなどをするにしています。



炊事車料理を試食

自衛隊父兄会

演習などの際、わが子がいんな食事をしているのか知りたいと、自衛隊父兄会(堂領宏会長)は6月30日、43普通科連隊第一中隊の協力を得て、町体育館で炊事車で調理した料理の試食会を行いました。

父兄会は、隊員の仕事や生活ぶりを知るため、これまで自衛隊の各施設を

見学したり、隊食の試食などを何度となく実施していますが、炊事車料理の試食は今回が初めて。

この日は、父兄会役員や婦人部員約40名が参加。炊事車の機能や役割などの説明を受けた後、お米をいったり、ジャガイモの皮をむいたりしながら隊員と一緒にエビフライ料理に挑戦。試食会には福永町長も招待し、楽しい昼食のひとときを過ごしました。



ふるさとまつり始動

第1回企画運営委員会

11月に開催を予定している「町ふるさとまつり」の第1回企画運営委員会が、7月1日午後4時から役場の会議室で開かれました。

ふるさとまつりは、活力のある町づくりを進めようと一昨年から行っているもの。町民総参加を目的に、今回初めて企画運営委員会を公募。委員に就任したのは若手を中心に、商工会や農協の青年部、

泥上げは自分たちで

東原第1支部

自宅周辺の美化は自分らの役割と、東原第1支部(草留実支部長、25戸)は、さきほど支部内の側溝の泥上げを行いました。

泥上げは、町内一斉清掃に合わせて定期的に実施しているもの。この日は全戸が参加。スコップを手で心地よい汗を流しましたが、「せっかくなので雨で流されてはたまらん」と、泥は支部員のトラックで町の埋立て処分場に運びました。

